

口腔機能低下症の可能性

おくちの相談室

【問い】昨年春ごろよりろれつが回らなくなり、脳神経外科、耳鼻科、脳神経内科を受診しましたが、いずれも異常なしという診断結果でした。味覚も正常です。どうしたらいいのでしょうか。（諫早市、50歳女性）

【答え】最初に考えられるのは脳血管障害なのですが、検査の結果異常なしとのこと。でしたら口腔に何らかの問題があるかもしれません。一般的に「ろれつが回らない」とは、舌が滑らかに動かないために話にくく、言葉が不明瞭になることです。口腔に問題がある場合▽唇を閉じる力の低下▽舌運動の機能低下▽口腔乾燥のため舌のスムーズな運動ができないなどが原因と考えられます。特に、発音したときに『は』という発音が『ふあ』と聞こえたり、『た』『ら』という発音が『あ』と聞こえたりする場合は要注意です。口腔機能低下症の可能性があります。

口腔機能低下症は加齢や疾患、障害などが主な原因となり、食事や発声に関する機能が低下していく病気です。進行すると摂食嚥下障害で食事がしづらくなり、低栄養や運動機能障害、誤嚥性肺炎などの全身疾患を誘発するリスクが高くなります。

日常的にできる対策は口腔体操を行い、口唇や舌の運動機能低下を予防するのが効果的です。例えば、『うーいー』という発音を5回程度しっかりとしたり、『ば』『た』『か』という発音を「ばばばばばばばばばば」のように、しっかりと10回ずつ発音したりします。また舌を前後、左右、上下に動かしたりします。

口腔乾燥に対しては、頻回な水分補給のほか、唾液腺のマッサージが効果的です。具体的には左右の耳部分（耳下腺付近）を、このひらで10回程度円を描くようにもむと良いでしょう。

質問をどうぞ

ほかにも、さまざまな原因が考えられます。かかりつけ歯科医を受診して詳しく原因を探り、必要なアドバイスを受けてください。

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒8552-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

回答者

江頭 聡
西彼時津町浦郷
えがしら歯科医院長

